

石神中学校だより14号

発行日：令和元年12月4日

2019重点目標<目標を持ち、共に高め合い、夢の実現のためにやり抜く生徒> 文責：校長 佐藤恭司

レクリエーション大会開催！

11月21日(木)代表委員会生活向上プロジェクト企画として全校生による大レクリエーション大会が行われました。期末テスト二日目終了後ということもあり、テストから解放された自由とストレス発散など生徒らの生き生きとした表情が印象的でした。同学年だけでなく、上級生や下級生とのゲーム、試合、観戦など笑顔あふれる企画と運営は見事でした。実施種目はクラス対抗障害物リレーとドッジボール。今年度生徒会テーマ「笑顔満祭」～僕らの絆はどこまでも～まさにテーマ通りの大会となり、忘れない思い出の一つになったことと思います。



ドッジボール



障害物リレー

第32回野馬追いの里健康マラソン大会頑張りました！

12月1日(日)雲雀ヶ原陸上競技場において第32回野馬追いの里健康マラソン大会が開催されました。本校から中学女子3km、男子5kmの部に合わせて50名の生徒が参加しました。生徒の明るく意欲的な走りに沿道見学者から、多くの声援の聲が聞かれました。開会式では、2年の百井大空さんと2年の石川朱璃さんが選手宣誓をしました。素晴らしい宣誓に惜しみない拍手が響きました。生徒及び引率の先生方お疲れ様でした。



選手宣誓をする百井さんと石川さん



力走する本校生徒ら

ねがい⑬

毎年、12月に入ると3年生にとっては卒業後の進路決定で悩める日々が続きます。年明けの私立高校推薦入試や一般入試に向けて、12月には願書出願も始まります。また、県立高校入試制度の変更に伴い、前期選抜入試も1月中には出願準備に入ります。生徒の様子を見てみると入試に向けて参考書を手にする生徒、進路コーナーで資料を確認する生徒、生徒一人一人が悩み、決定する時期が近づいていると感じています。さて、数年前のTVコマーシャルで「いつやる!」「今でしょ!」ということばが流行したのを覚えていることと思います。

勉強に限らず、「今やらずしていつやる」そのようなタイミング、時期は必ずあるものです。中学生の時期、高校生の時期、大学生、社会人など、その時々、今しかできないこと、今だから出来ること。「あの時やっておけばよかった」と言いたくないでね。私も50歳代ですが、「今やらずしていつやる」この気持ちを持ち続けて行きたいです。



スクールチャレンジ南相馬大会優秀プレゼン賞受賞



熱心に発表する酒井さんと津浦さん



大和田教育長より受賞

1月30日(土)原町生涯学習センターを会場にスクールチャレンジ南相馬市大会が開催されました。南相馬市内の中学校6校が参加する中で、本校は見事優秀プレゼン賞を受賞しました。2年生の酒井美玖さんと津浦那月さんは剣道部の練習の合間に研究を深め、本校代表として参加しました。とてもハキハキして素晴らしいプレゼンテーションだったと高い評価を得ました。各校共に工夫を凝らし意欲的な発表を行いました。特に最優秀賞を受賞した小高中学校は防災にPepperを活用するなど、生徒や地域の方々が興味や関心を高められるような内容は大いに参考となりました。次年度のスクールチャレンジ発表も頑張ってください。

子どもたちに伝えたい名言とことわざ⑬

【目は口ほどにものを言う】

目には、その人の気持ちが表れるという意味の言葉です。何も話さなくても笑顔でいれば、安心感を与えたり、人の気持ちを温かくしたりします。また、反対に口に出さなくても嫌なことや怒っていることは目つきで伝わります。口ではうまいことを言っている、目に落ち着きがなかったり、視線を合わせなかったりすれば不安感を与えたり、嘘である事がばれたりします。目は口で話すのと同じくらいに説得力を持っているということです。



～新しい標識を設置しました～

校地内に2ヶ所新しい標識を設置しました。一つは1年昇降口前です。もう一ヶ所は？

